



設立以来軸としてきた、学校でのプログラミング教育支援に加え、新しい取り組みに挑戦した1年でした。関わってくださった、全ての皆様に感謝申し上げます。

特に、初めて全国のプログラミング教育の実態調査を行ったことは、ここまでの学校現場とみんなのコードの取り組みを振り返るだけでなく、今後の方向性を考える重要な基礎資料を持つことができました。また、これまで石川県加賀市のみで運営してきた学校外の「テクノロジーの居場所」は、この1年間で金沢市・須崎市と新たに2ヶ所増え、全国3拠点になりました。団体を取り組んできたことを、対外的に評価して頂いたことも、大きな励みに繋がりました。

具体的には、パートナー企業様と協業した子供向けワークショップや、コンピュータクラブハウスに通う子供の作品が入賞したりいたしました。更に、みんなのコードの働き方・カルチャーも表彰いただくことが出来ました。2022年度は、未来の学びをつくるために組織を強化し、調査研究・政策提言・世論形成にも力を入れていく所存です。引き続きのご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

Partner × >みんなのコード

みんなのコード パートナー企業・団体様



みんなのコードを応援してください

スポンサー・サポーターを募集しています！



みんなのコードは、企業様からのご支援、個人の方からのご寄付、他の NPO のご協力など、皆様からのさまざまなご支援をもとに魅力ある取り組みを実現しています。

次世代のための社会貢献に力を入れている企業様には、ボランティア創出の機会をご提案できますので、お気軽にお問い合わせください。

FOLLOW US



@codeforeveryone



みんなのコードの取り組みに共感して下さる企業様・個人の皆様、温かいご寄付をお待ちしております。

<単 発> 3,000円 ~

<マンスリー> 1,000円 ~ のご寄付が可能です。



>みんなのコード 仲間募集 しています！



みんなのコードには、多様なバックグラウンドや専門スキルを持ったプロフェッショナルが集まっています。わたしたちと一緒に、未来の教育を創っていくことにご興味のある方は、最新の採用情報をご覧ください。

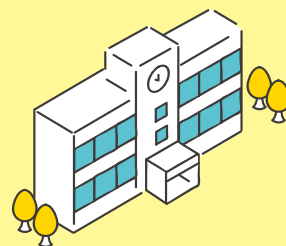


特定非営利活動法人

>みんなのコード

2021年度活動報告

2022年度活動方針



Our Vision

子供たちが

デジタルの価値創造者となることで、

次の世界を創っていく。



発行者 >みんなのコード 名称 特定非営利活動法人 みんなのコード
 代表理事 利根川 裕太 設立 2015年7月
 E-mail info@code.or.jp 所在地 〒105-0003
 東京都港区西新橋1-1-1
 日比谷フォートタワー9F (WeWork内)

<https://code.or.jp/>

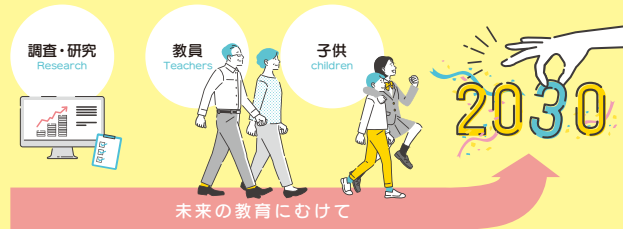


みんなのコード

未来を創る学びの実現に向けて

2030年の社会はどうなっているのでしょうか。

みんなのコードは、多様性と創造性を持った子供たちがテクノロジーを活用して、これからの世界をより良く変えていくと信じています。テクノロジーの恩恵を享受するだけでなく、テクノロジーを用いて自分、周りの人々、地域、世界のために多様な価値を創り出していく子供たちがこれからの社会の主人公です。未来を創造する子供たちにとって相応しい学びが実現されるよう、みんなのコードは教員、学校、教育委員会、国、企業、地域の方々と共に、様々な方面から教育のアップデートを行っています。



未来の教育にむけて

子供
children

オンラインでの
プログラミング体験の様子



2022年度

もっとみんなに届けられるよう、
各分野のNPOとの連携も
深めています。



表現の場づくり

「すべての子供の“デジタルを活用し表現する権利”が保障される社会をつくる」をミッションに、10代の子供たちが無料でデジタル機器を活用し、表現することのできる場をつくっています。

- ・コンピュータクラブハウス加賀 (石川県加賀市)
- ・ミミラボ(石川県金沢市)
- ・てくテックすき (高知県須崎市 2022年3月開設)

企業連携

パートナー企業とのコラボレーションを通して、子供たちがテクノロジーの面白さを体験できるワークショップ・キャリアイベントを全国の子供たちに届けています。2021年度は、オンライン・現地の両形態で実施し、子供たちから喜びの声をたくさんいただいております。

- < 2021年度のイベント実績 >
- 24回のイベント開催
- 1,483名の子供たちの参加
- 181名の企業がボランティアの協力

日々、素敵な作品が生まれています



2022年度

地域と子供と向き合い、日々の
運営の充実・新たなモデルの
模索を続けます。



教員
Teachers

先生方への無償研修

子供たちは、プログラミングをはじめ様々なテクノロジーの体験を通して情報活用能力を伸ばしていきま。子供たちに様々な体験を与えて学びにつなげるプロフェッショナルである学校の先生方には、みんなのコードが提供する研修を通して、子供たちの学びをさらに豊かにしてほしいと考えています。みんなのコードは設立以来、小・中・高校の先生方に無償でプログラミング研修を行っており、高い評価をいただいています。

小学校教員については、
2020年度までに44都
道府県2,100名以上に
ご参加いただきました。

< 2021年度の研修実績 >
中学校：20自治体 427名
高等学校：16自治体 517名

2022年度

2022年度も無償研修を
継続します。(中・高)

教材の開発・提供

プログラミング指導の経験が少ない教員でも安心して授業ができるウェブ教材「プログル」シリーズを無償で提供しています。

- 小学校向け「プログル」 <https://proguru.jp/>
・算数「多角形」[公開数]「平均値・範囲値・中央値」コース
・理科「電気の利用」コース
- 中学校向け「プログル技術」 <https://middle.proguru.jp>
・双方向性のあるコンテンツのプログラミングに特化したチャットシステムの構築
- 高等学校向け「プログル情報」 <https://high.proguru.jp/>
・Pythonの本文文法の修得とAPIの利用体験

2022年度

コンピュータサイエンスの
新教材を開発中です。



調査・研究
Research

宮城教育大学附属小学校との締結式



2022年度

「学びの質に重点を置いた
プログラミング教育」の
研究を開始します。

実証研究・開発

日本の公教育において、すべての学校段階でプログラミング教育を含む広義的な「情報教育」の充実を目指し、学校や自治体と密に連携しながら授業実践やカリキュラム開発の研究を進めています。本研究結果を元に、2030年からの次期学習指導要領における子供たちの情報活用能力の在り方について、提言していきたいと考えています。

< 研究・開発事業実績 >

- ・宮城教育大学附属小学校との協働研究
- ・コンピュータサイエンスに関するオリジナル教材(小学校向け)の開発
- ・栃木県那須町と「テクノロジー」教育の推進に関する連携協定の締結
- ・石川県加賀市立片山津中学校でのPBL学習の推進
- ・宮城教育大学・教員養成課程におけるコンピュータサイエンス履修課の授業開発

プログラミング教育実態調査

今後全国の教育現場でさらに効果的・体系的なプログラミング指導が行えるよう、日本国内の学校教育におけるプログラミング教育の実態について、全国の小学校教員1,037名、中学校教員1,362名(全日本中学校技術・家庭科研究会との共同調査)、小学生・中学生・高校生およびその保護者3,000組を対象に、定量・定性調査を実施しました。また、海外のプログラミング教育の実態についても取り上げています。



この結果は、教育関係者に有益かつ実証的な情報の提供を目的とし、2020年12月より公開しています。

2021年度 みんなのコードの歩み

4月

高校向け無償教材プログル情報リリース

2022年実施の学習指導要領に先駆け、高等学校向け「プログル情報」をリリースしました。小・中・高の各学校段階でのプログラミング教育に活用した教材シリーズが完成しました。



コンピュータサイエンス教育の実証研究報告書を発表

公教育における「コンピュータサイエンス教育」のモデルケースとして、宮城教育大学附属小学校との実証研究を、報告書にまとめました。各学年の実践授業紹介やアンケート調査をまとめました。



9月

宮城教育大学教育学部と「コンピュータサイエンス教育」の実践的なカリキュラム策定研究を開始

テクノロジー化の進む学校現場に対応した教員養成教材として、「学校教育とテクノロジー～小学校の教員を目指す学生向けコンピュータサイエンス最初の一步～」の作成を開始しました。みんなのコード初となる、大学へのアプローチです。



10月



出張コンピュータクラブハウスの開催

コンピュータクラブハウスから離れた地域に住む子供にも、デジタルを活用し表現する機会の提供として、加賀市御機・山中の2地域にスタッフが機材を持ち込み、大好評となりました。2022年度も、本取り組みを継続・拡大していきます。

5月

プログラミング教育指導教員養成 全国報告会開催

3年にわたる小学校教員研修の総まとめです。実践事例の紹介、過去の参加者による「私にとつての養成塾」、「共に未来を考える」の3部構成で、プログラミング教育のこれからについて、参加者の熱心な議論が交わされました。



7月

利根川代表が、経産省「デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会」委員拝命

本委員会は、デジタル関連の部活に所属する生徒一人一人のデジタルスキル等の向上を、産業界が中心となって支援することの在り方等について整理し、実現に向けた提言の発信を目指すものです。



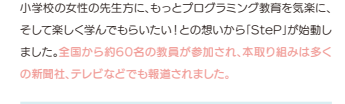
石川県金沢市に「ミミラボ」オープン

金沢市に本社を置く三谷産業株式会社が所有するオフィスビル内に、みんなのコード2つ目の拠点がオープンしました。民間企業が地域の教育の発展に貢献する、新たなCSR活動のモデルです。開館から6か月で、来館者数1,000人を突破しました。



8月

国内初、小学校の女性教員向けにプログラミング教育の養成プログラム「SteP」を開始
小学校の女性の先生方に、もっとプログラミング教育を気軽に、そして楽しく学んでもらいたいとの思いから「SteP」が始動しました。全国から約60名の教員が参加され、本取り組みは多くの新聞社、テレビなどで報道されました。



12月

栃木県那須町と「テクノロジー教育に関する連携協定」を締結

那須町が「教育課程特例校」で取り組む「NAISU(ナイス)タイム」において、コンピュータを活用した児童・生徒の課題解決学習をサポートする連携協定を締結しました。



「ICS is everywhere!」オンラインイベントを開催

コンピュータサイエンス教育週間に合わせ、「中学生向けワークショップ」「高等学校情報教員向け講演」「企業CSR担当者向けパネルディスカッション」の3つのイベントを実施し、それぞれ盛況に終わりました。

東京ボランティア・市民活動センターが主催する第7回企業ボランティア・アワードにて、2つの取り組みが「大賞」を受賞

受賞したのは、みんなのコードがパートナー企業と取り組んだ、下記2つです。
①SAPジャパン×地方の小学校での「プログラミングワークショップ」
②セールスフォース・ジャパン×コンピュータクラブハウス加賀での「高校生向けSTEM教育」



3月

高知県須崎市に「てくテックすき」オープン

みんなのコード3つ目の拠点は、本州外へ初進出しました。人材流出の問題を抱える過疎地域における、地方創生の新しいモデルとなることを目指しています。

